

8月11日 駿河湾の地震の発震機構解

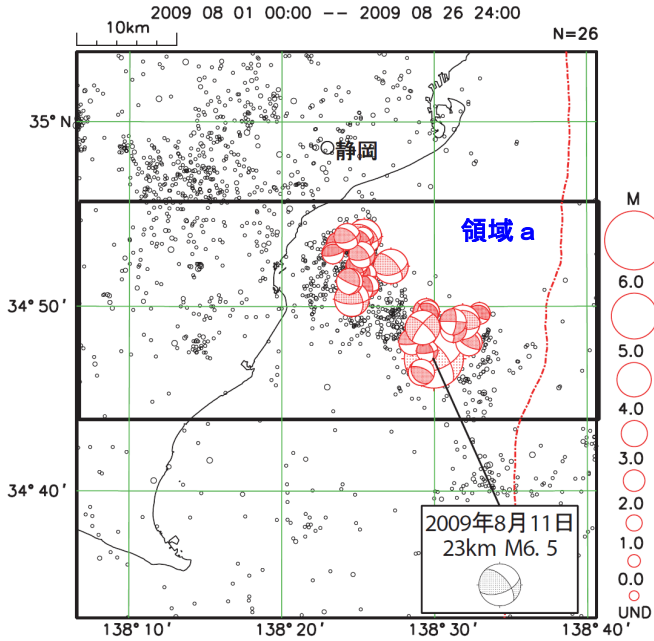


図1. 発震機構分布図（黒丸は2002年10月以降、深さ60km以浅、M1.0以上の地震を示す）

8月11日に発生した駿河湾の地震（M6.5）の発震機構は、P波初動解・CMT解ともに、圧力軸は北北東-南南西方向の、横ずれ成分を持つ逆断層型であった。余震の初動解は、逆断層から横ずれ断層型の間に分布し（図4）、P軸の向きは本震と同様の向きの解が卓越している（図5）。

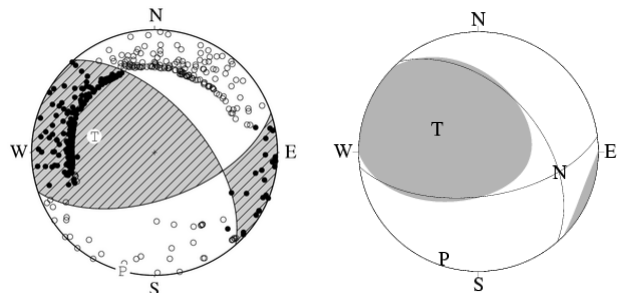


図3. 本震の発震機構解
（左：P波初動解、右：CMT解）

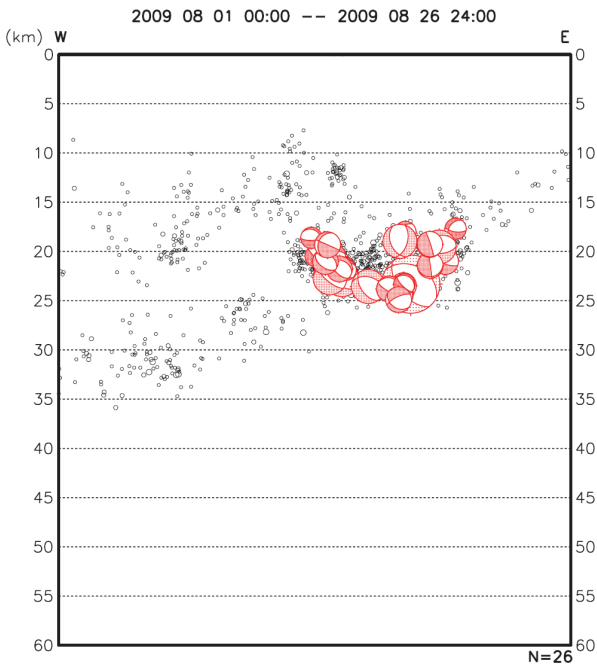


図2. 図1領域 a 内の東西断面図

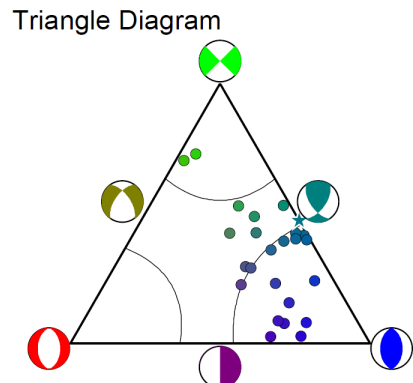


図4. 本震および余震の三角ダイアグラム
（本震を星印で示す）

Rose Diagrams

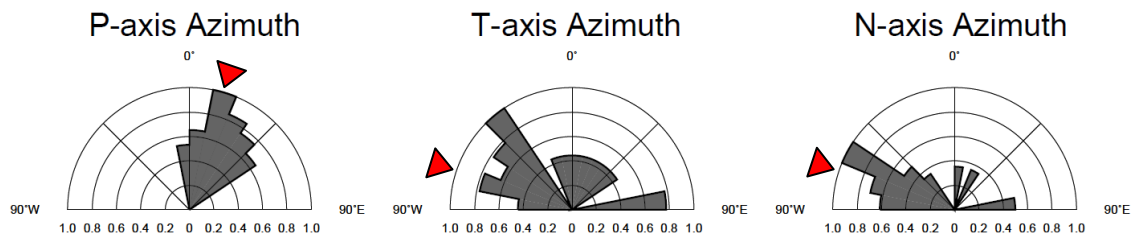


図5. 余震の発震機構解のP軸・T軸・N軸のローズダイアグラム（赤三角は本震の軸）